

《 記念事業概要 》

別表2—(1)—1

(1) 町主催事業

番号	担当課等	事業名	実施時期	主旨及び事業内容	予算	備考
1	総務課	記念式典	平成22年9月12日(日)	平成22年9月12日実施予定の農林商工祭同日に、120周年記念式典を行なう。 式典では、寄付者等の表彰を行なう。	100,000円 (表彰状等)	
2		役場のおもてなし	通年	庁舎に季節の花(町の花である山ゆりなど)や季節を感じる置物などをボランティアで置いて下さる町民、企業、団体を募集し、庁舎の明るいイメージ作りをする。	—	
3		町制120周年記念日に町長メッセージ	平成22年10月27日(水)	町制120周年記念日にあたる10月27日の朝、120周年を記念して町長から町民の皆さんへお祝いのメッセージを防災行政無線で放送する。 また、広報10月号にも町長のあいさつを掲載する。	—	
4		防災訓練	平成22年11月28日(日)	自衛隊へ参加要請し訓練を実施するとともに、一宮町地域防災計画に基づき住民参加の防災訓練を実施する。 地震体験車による地震体験も行なう。	—	
5	総務課・まちづくり推進課	町制120周年を広報等で周知	平成22年1月～23年3月	・平成22年1月号で「120周年特集」を掲載する。【総務課】 ・平成22年1月号から23年3月号まで毎回120周年のコーナーを設け掲載し、町民の皆様に120周年という意識付けをする。その中で、一宮町制100周年、平成2年9月20日に制定された町の憲法「一宮町民憲章」の存在と意義を広報等で周知していく。 また、庁舎へ1年間、120周年の懸垂幕を掲げ、住民への周知を図る。町の玄関口であるJR上総一ノ宮駅への横断幕等についても働きかけをする。 その他、各種イベント用の横断幕や立看板を作成し、貸出をする。【まちづくり推進課】	120,000円 (懸垂幕・横断幕)	
6	まちづくり推進課	町のキャラクターを作ろう	平成21年12月16日(水)～22年2月10日(水)まで募集 (広報12・1月号、ホームページ、新聞掲載、小中高校内用紙設置)	120周年を機に町のキャラクターを公募する。このキャラクターは120周年から使用開始し、今後、町のキャラクターとして使用していく。 企画委員会で2月に審査し、決定する。 キャラクター採用者には、120周年記念式典で表彰し、町の特産物を贈呈する。キャラクター及び採用者は広報等へ掲載する。 また、キャラクターの着ぐるみを作成し、各種イベントへ貸出をする。	80,000円 (表彰状・特産物) 700,000円 (着ぐるみ等)	
7		一宮町まちづくり町民提案事業	平成22年2月～23年3月	平成22年度まちづくり町民提案事業を、120周年記念に因んだ思考を凝らした事業にて募集をする。	—	
8		町制120周年記念統一ロゴ利用団体等の募集	平成22年2月～23年3月	120周年記念に因み、団体や企業においても様々なイベントなど積極的に行なって頂くよう、啓蒙・周知の徹底を図る。その際には統一したロゴの使用を願う。 なお、ロゴを使用するにあたっては、状況の把握のため届出をしてもらう。 また、ロゴを使用した町制120周年をかたった詐欺行為等の注意を促す。	—	
9	都市環境課	町道に愛称をつけよう	平成22年5月19日(水)～6月30日(水)	町民の皆さんが日頃から利用している道路に親しみをもち、環境美化等によりいっそう努めて頂く事を目的に、町道の愛称を募集する。 募集終了後は、企画委員会で愛称を審査・選定する。 採用された町道の愛称は、まちづくり町民提案事業の4DMAPS一宮町が作成している地図に掲載する。	—	

番号	担当課等	事業名	実施時期	主旨 及び 事業内容	予算	備考
10	産業観光課	「一宮町ロマンロード」の周知	平成22年1月～23年3月	一宮町の史蹟・名称等をピックアップした散策道を紹介するイラストマップを作成する予定であり、その中で、一宮町ロマンロードを位置付け、それを町内外に配布し周知を図る。	—	
11		「心の駅外房七福神」と「浜の七福神めぐり」の周知	平成22年1月～23年3月	「外房七福神」は心の駅外房七福神が実施し、「浜の七福神めぐり」は九十九里観光振興活性化連絡協議会が実施している。 七福神めぐり自体は、直接神社仏閣が取り組んでおり介入できない面もあるため、九十九里浜観光振興活性化連絡協議会のメンバーである一宮町観光協会が「心の駅外房七福神」及び「浜の七福神めぐり」の周知を図るよう働きかける。	—	
12		桜オーナー制度	平成22年4月	千葉県緑化推進委員会が、城山公園に20本の「河津桜」を植樹した。 この管理については、オーナーを募集し、オーナーの名前を木に表示し、今後の管理をオーナーに委任する。	—	
13	保育所	記念式典へ遊戯や歌で参加	平成22年9月12日（日）	記念式典に、遊戯や歌等によるアトラクションにて参加をする。	—	
14	保育所・教育課	町制120周年記念日給食特別メニュー	平成22年10月27日（水）	保育所・小中学校の給食で、町制120周年記念日に因んだ特別メニューを作る。 後日、広報・ホームページによりメニューの写真・材料・レシピを掲載し、各家庭に紹介する。	—	
15	教育課	小学校子ども議会	平成23年1月	小学校の社会科学習の一環で、議会制民主主義（小学6年生の1月に勉強する）の仕組みを学ぶため、小学6年生を対象とした17名が議員（議長1名、議員16名）となり、「子ども議会」を開催する。 子ども議員から、町に対する疑問・質問・要望等を発表してもらう。	—	
16		町制120周年記念公開講座	平成22年 5月29日（土） 6月 5日（土） 6月12日（土）	城西国際大学は、千葉県に立地する大学として地域社会に貢献することを目指し、その一環として平成4年度より城西国際大学の最新の研究成果を地域社会に還元するために地方都市巡回型の公開講座を実施している。 具体的には、千葉県に関係の深いいくつかの統一テーマについて城西国際大学の専任教員が主体となって、数名ずつのチームを作り、出講している。 開学18年目を迎えた平成21年度は、東金市、鴨川市、鋸南町、茂原市、大網白里町、御宿町、大多喜町の7会場で行なわれており、120周年を迎える平成22年度は、「一宮町の歴史と文学」をテーマに、公開講座を実施する。	—	
17	福祉健康課	いちのみやまちウォーキングマップ	平成22年9月12日（日）	一宮町農林商工祭で、一宮町食生活改善会で作成した「一宮町ウォーキングマップ」を配布および提示する。 海コース、山コース、花の小径コースの特徴・見所の紹介をし、運動習慣の定着をめざして啓蒙する。 その後、広報に掲載する。	—	

(2) 各種団体主催事業 (町後援)

No.	実施団体	事業名	実施時期	主旨 及び 事業内容	予算	備考
1	一宮町農林商工祭 実行委員会・上総 一宮まつり実行委 員会	一宮町農林商工 祭・上総国一宮ま つり	平成22年9月12日 (日)	午前中に、農林商工祭による新米・梨等の農産物の即売及び加工品販売を実施する。 午後からは、玉前神社表参道でのアトラクションや上総踊りを披露し、翌日の十二社祭りとあわせた2日間にわたる盛大な行事で町制120周年記念を祝う。	—	産業観光課
2	一宮町観光協会	灯籠流し	平成22年8月16日 (月)	長年中断していた「灯籠流し」を復活させ、一宮川で行なう。	—	産業観光課
3	一宮町商工会	キャラクター入 りポロシャツを 作ろう	通年	「町制120周年記念キャラクター入りポロシャツ」を販売する。 役場職員はクールビズ対応として購入、毎年夏6~9月仕事に着用する。 また、ご当地グッズとしてキャラクターポロシャツを作成・販売することにより、一宮町の観光PR・地元商店街の活性化を図る。	—	まちづくり推進課
4		ポイント還元セ ール	通年	協同組合一ノ宮スタンプ会の協力を得て、 ・来年中に発行するチラシに「一宮町制120周年記念」の一文を入れる。 ・記念式典の日に合わせて、ポイントセールを行なう。	—	産業観光課
5	一宮町商工会青年 部・女性部	納涼盆踊り大会	平成22年8月	一宮町保健センター前を会場として、盆踊り大会を開催する。 イベントとして、「一宮町制120周年記念クイズ大会」を開催し、町の事業や歴史について理解を深めてもらい、例年にも増して楽しい事業となるようにする。	—	産業観光課
6	一宮平和を考える 会	一宮平和を考え よう	通年	穏やかにやわらぐ平和な街 一宮が、未来に向けて続くように、「平和学」の学習会を数回実施する。 ・未来を担う子供向けに、映画上映・紙芝居・うた声・音楽会・絵本の読み聞かせを行なう。 ・町の戦跡見学 ・古老から一宮の戦争体験を聞き、語り合う。また、それを小冊子にまとめた。	—	教育課
7	十二社祭りの「か ん(神)の道」を 歩く会	十二社祭りの「か ん(神)の道」を 歩く	平成22年9月	千葉県無形民族文化財に指定(平成15年3月)されている「上総十二社まつり」は、一宮町とその近郊の最大の祭りであり、由来・形態・内容に郷土の生活文化の特色を示す貴重なものである。 祭りの当日、9月13日に玉前神社のご祭神玉依媛の御霊をのせた神輿は、古くから定められた「かん(神)の道」を 通って祭典場である釣ヶ崎へと向かう。また、還御も定まった道を通って戻ってくる。玉前神社と祭典場である釣ヶ崎 海岸はよく知られているが、町なかを行く「かん(神)の道」は知る機会もない。当日は駆け抜けるから同道するわ けにはいかない。そこでそのコースをゆっくり歩きながら、一体としての「祭りの姿」を思い見るとともに、古道の良 さを知る機会としたい。 春は玉前神社から釣ヶ崎へ。秋は釣ヶ崎から玉前神社へのもどりの道を歩く。玉前神社で祭りの説明を聴き、神輿に触 れることも考慮される。 完歩の証明書を発行する。	—	まちづくり推進課 産業観光課 教育課
8	一宮町文化同好連 絡協議会	町制120周年記念 を祝福する記念 行事	通年	年初めに開催される「文化同好連絡協議会」の平成22年度定期総会で、「町制120周年」を迎えたことを明確化させ、各 グループに「町制120周年を意識・表現」した催し物となるよう様々なグループに取り組み要請をすると共に、「祝・町 制120周年」の横断幕を掲げ、参加者全員で祝う。 《芸能と音楽を楽しむ会》 ・10月に予定されている「会」の出演グループに対し、「町制120周年を祝う⇒意識した演題」を要請する。 ・100周年記念時に作成した「一宮町の歌」を復元させ、参加者全員で合唱する。	—	教育課

番号	実施団体	事業名	実施時期	主旨及び事業内容	予算	備考															
9	一宮町子ども会育成会	ウォークラリー	平成22年5月16日(日)	ウォークラリーは、中央公民館・GSSセンター等よりスタート。ハイキングはグループ(途中でクイズ)で行う予定 ゴールはどちらも憩いの森(昼食) また、子ども会では例年やっている事業の中で、120周年に係る数字等を入れていく予定。	—	教育課															
10	一宮町青少年相談員連絡協議会	親子ハゼ釣大会	平成22年9月	一宮町在住の中学生以下の子ども及び保護者が、一宮町青少年相談員連絡協議会主催(一宮町子ども会育成会・一宮町体育指導員)の大会に参加し、1日を有意義にかつコミュニケーションを図りながら、ハゼ釣を楽しむ。	—	教育課															
11	一宮町保護司会 更生保護女性会	河津桜植樹	平成22年12月	桜の苗木が、風雨に耐えすくすくと育ち、花を咲かせ、人々の心を和ませる。やがて大木となり、子供達を見守ってくれる。そんな将来を願って、10本程度植樹し寄贈したい。 費用については、一宮町保護司会・一宮町更生保護女性会で負担する。	—	まちづくり推進課															
12	一宮町勤労者福祉対策協議会	“勤労者ふれあい花ロード”づくり	平成22年3月～23年3月	勤労協もあと数年で50周年を迎えることになった。今日、地球規模で話題となっている自然環境保護に、何かお役に立てたらと、今年度の活動として、車を利用する人々が一宮町に入り、一番先に通る道路(県道飯岡一宮線)の「歩車道区分帯」が雑草で伸び放題の現状を見かね、「長生地域整備センター」と協議し、勤労協活動の新しい試みとした『勤労者・ふれあい花ロードづくり』がスタートした。21年度は伸び放題となっている雑草の草刈りを行っている最中であり、今後継続し、勤労協会員が中心となり地域住民の人々に声をかけ、自然を愛し、花や緑を育てることを通し、人にやさしい、思いやりを持った人づくりに取り組んでいく。 ≪作業内容≫ <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">1. 在来樹木の伐根</td> <td style="width: 10%;">H22・3月</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">10名</td> </tr> <tr> <td>2. 土壌づくり</td> <td>H22・4月～5月</td> <td style="text-align: right;">15名</td> </tr> <tr> <td>3. 植樹</td> <td>H22・5月～6月</td> <td style="text-align: right;">30名</td> </tr> <tr> <td>4. 散水作業</td> <td>H22・6月以後定期的(伊勢化学の協力)</td> <td style="text-align: right;">5名</td> </tr> <tr> <td>5. 草刈作業</td> <td>H22・9月以後定期的</td> <td style="text-align: right;">10名</td> </tr> </table>	1. 在来樹木の伐根	H22・3月	10名	2. 土壌づくり	H22・4月～5月	15名	3. 植樹	H22・5月～6月	30名	4. 散水作業	H22・6月以後定期的(伊勢化学の協力)	5名	5. 草刈作業	H22・9月以後定期的	10名	—	都市環境課
1. 在来樹木の伐根	H22・3月	10名																			
2. 土壌づくり	H22・4月～5月	15名																			
3. 植樹	H22・5月～6月	30名																			
4. 散水作業	H22・6月以後定期的(伊勢化学の協力)	5名																			
5. 草刈作業	H22・9月以後定期的	10名																			
13	上総一宮郷土史研究会	「景観保全」の運動	通年	私たち郷土・一宮には、古代九十九里浜神話に彩られ、培われた風土の中で、時代とともに芽生えた香りたかい歴史と文化を築いてきた。近世には、地曳網漁の盛況に沸く。県下有数な商業都市として“破風造りの商家が軒を連ね”と称された面影の一端を今に伝えている。 町制120周年を迎えるに当たり、この120年の間、何が生まれ、そして失われていったかを振り返り、検証する。 まず現状把握から、やがて「景観法」の適用を視野に取り組んでいく。	—	教育課															